

# 県立病院を良くする会 次第

日 時 平成23年2月3日（木）  
午前10時から  
場 所 徳島県庁10階 大会議室

## 1 開 会

## 2 議 事

- (1) 県立病院の取り組み状況について (資料1)
- (2) 第二次経営健全化計画について (資料2・3)

## 3 閉 会

【配付資料】 資料1 県立病院の取り組み状況について  
 資料2 徳島県病院事業第二次経営健全化計画について  
 資料3 徳島県立三好病院整備方針

## 県立病院を良くする会委員名簿

(50音順、敬称略)

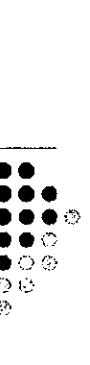
氏 名		現 職 等
	石 本 知恵子	地域医療を守る会 副会長
	伊 丹 一 夫	三好病院を応援する会 会長
	苛 原 稔	徳島大学病院 院長
	片 山 悅 子	(特非) 徳島県消費者協会 会長
副会長	谷 田 一 久	(株) エビタルマネジメント研究所 代表
会 長	中 村 昌 宏	徳島文理大学 総合政策学部長
	山 上 敦 子	(社) 徳島県医師会 常任理事
	森 山 節 子	(社) 徳島県看護協会 監事

**中央病院の取り組み**

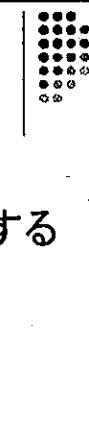
患者満足度の向上を目指した取り組み

**一 検査手帳 —**

(医療技術局 検査技術科)



**検査技術科理念**



- ・精度の高い検査を迅速に提供する
- ・信頼される検査技術科となる

**検査技術科目標**



**質の向上**  
認定取得、医療安全検討委員会の実施、自己血糖測定器の管理・メンテナンス、採血待ち時間の短縮など

**手一杯医療**  
検査情報誌の発行、糖尿病教室・呼吸器病教室への参加、病棟採血、採血管の管理、超音波診断装置の管理・メンテナンス

**国内外競争**  
検体検査委託業者の検証、検体検査セット項目の検証、海部病院の組織検査・不規則抗体検査の受託

**患者サービスへの取り組みが少ない**

**目的**

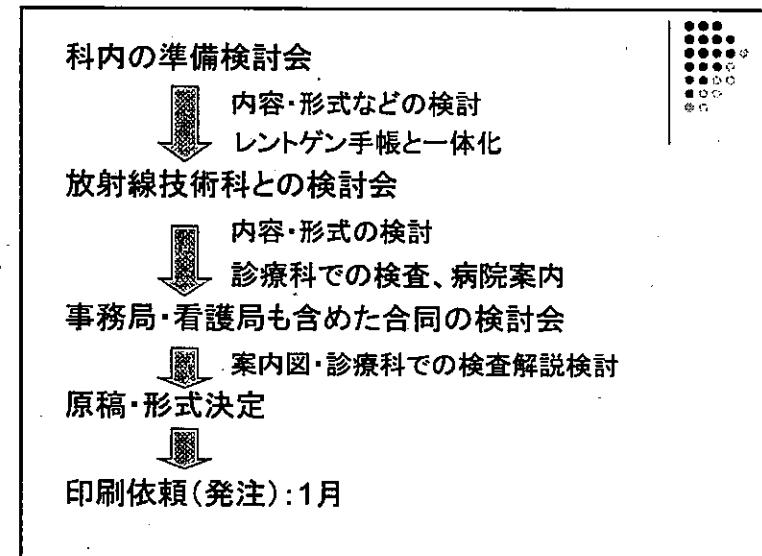
- ・検査部門として、患者満足度の向上のために貢献できるものを創る。

**方法**

- ・検査解説書を作成し、配布する。  
検査を簡単に分かりやすく、高齢者の方でも見やすいものとする。

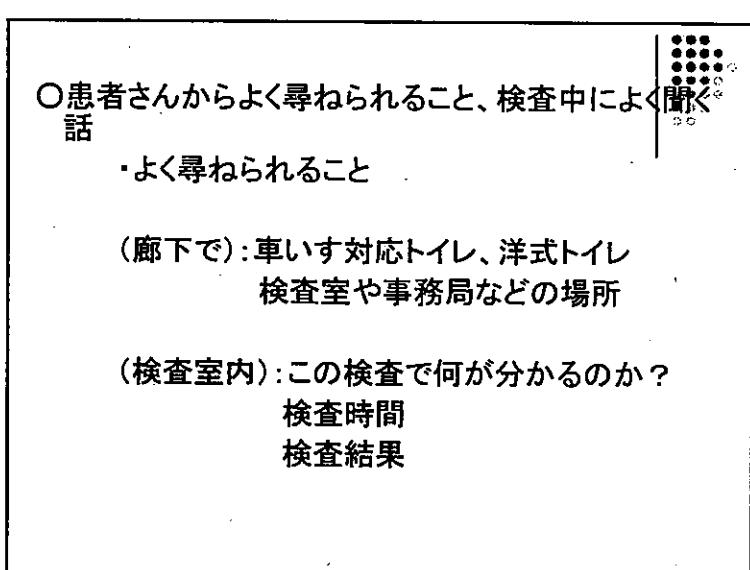
**検査手帳の作成・配布**





## 準備検討会での意見

- 一般的な検査解説書は多く出版されている。
- 中央病院独自のものが良い
- 標準値、検査に掛かる時間、報告時間、
- 検査の受付、会計など中央病院独自の方法
- 独自のものとなれば検査解説だけではなく、  
他に不慣れな病院で不安なこと、知っていれば  
便利なことも掲載する。
- 初めての病院は交通手段や駐車場、駐車  
料金、受付時間、会計方法も不安である。



## よく聞く話(ご意見)

※検査技師は生理検査などで患者さんと長く接する機会が多い。

- ①診察と検査の予約表や説明文など多くのものを持ってどれが何なのか分からぬ。
- ②検査の説明をしてもらったがよく分からなかつた。先生には聞き返しにくい。
- ③検査前の注意事項も分かりづらい。  
(例)膀胱の超音波検査の前に検尿  
絶食だったので薬を飲んでいない

結果

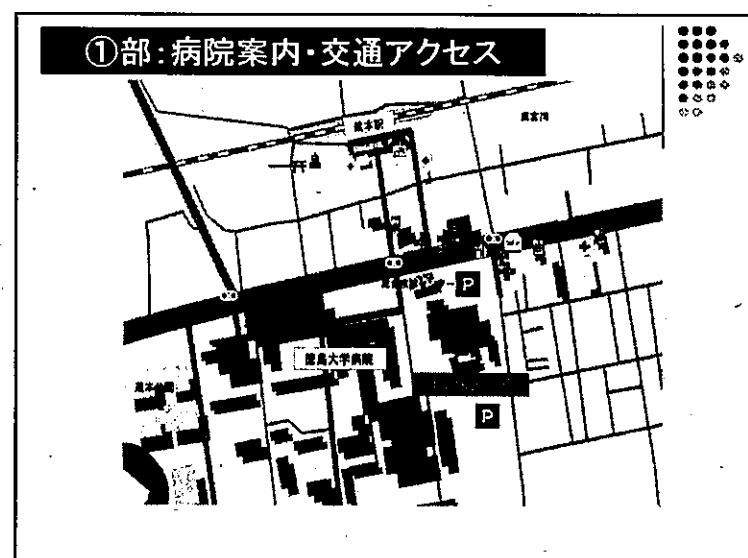
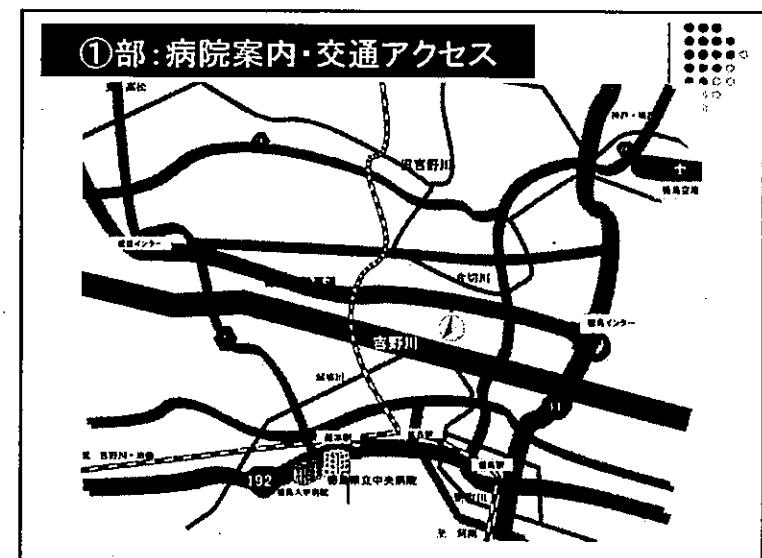
内容

4部構成とする。

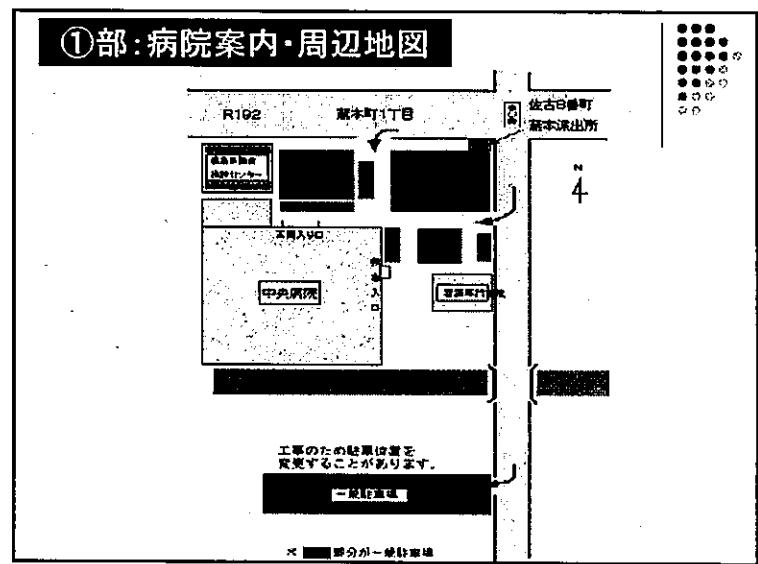
- ①部：病院案内
- ②部：検査解説
- ③部：放射線検査解説
- ④部：診療科で行う検査解説

①部：病院案内(約30P)

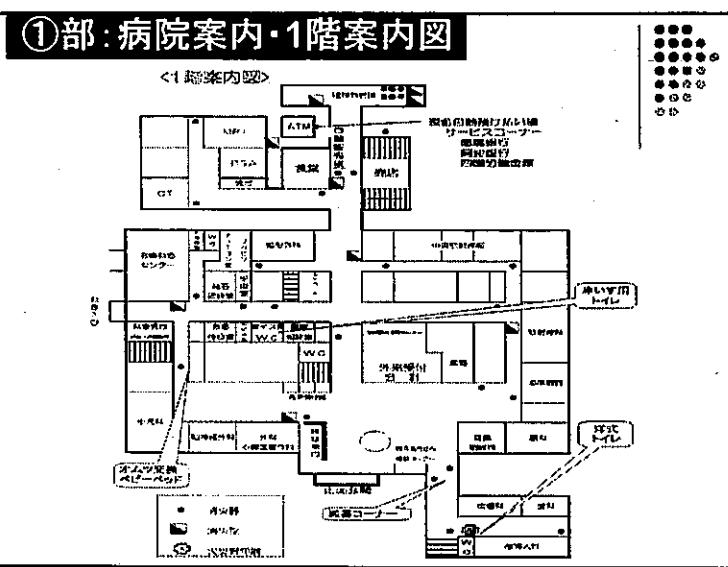
交通アクセス、周辺地図、敷地図  
駐車場案内図、駐車料金、院内設備、  
総合受付、診療案内、相談など



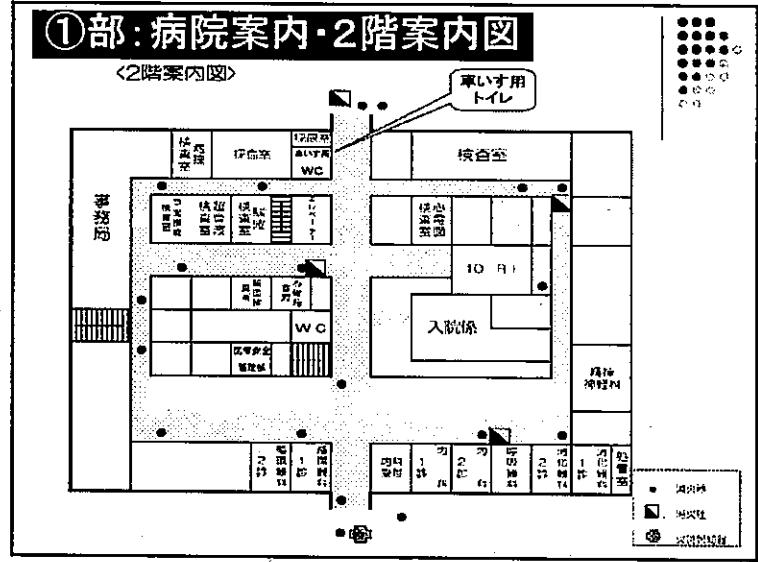
## ①部：病院案内・周辺地図



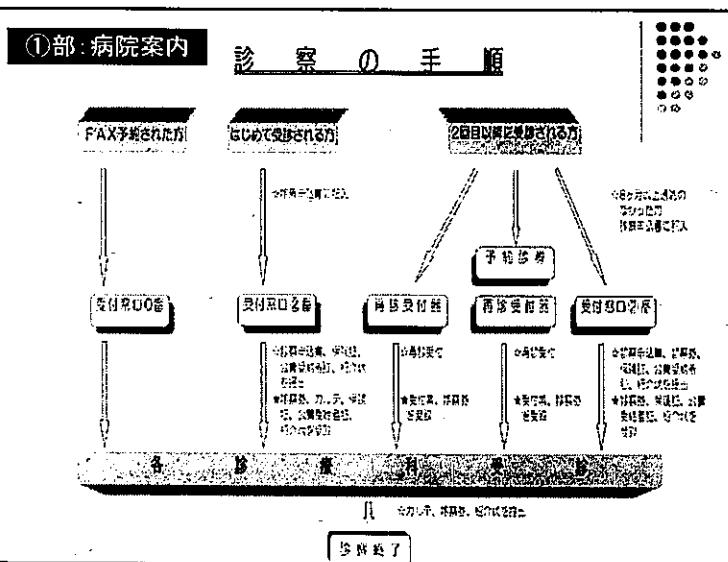
## ①部：病院案内・1階案内図

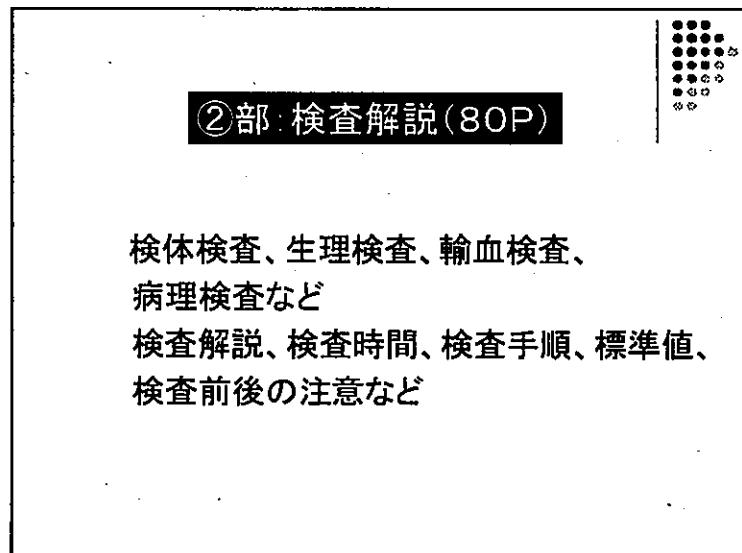
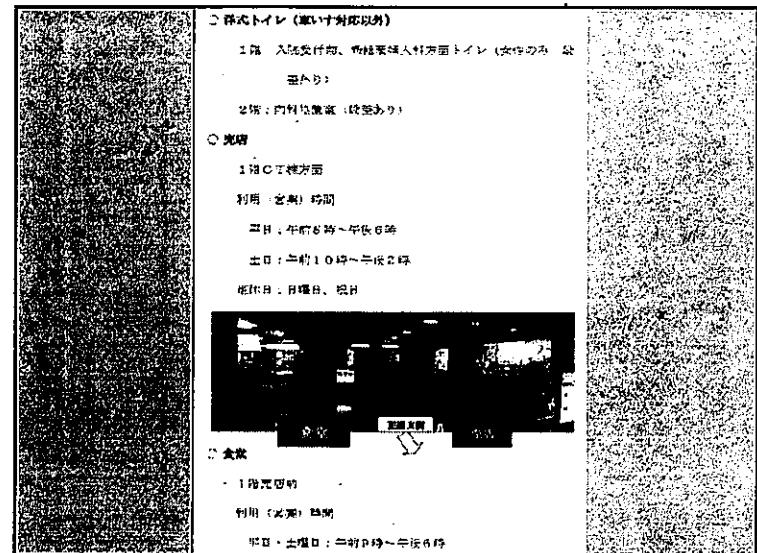
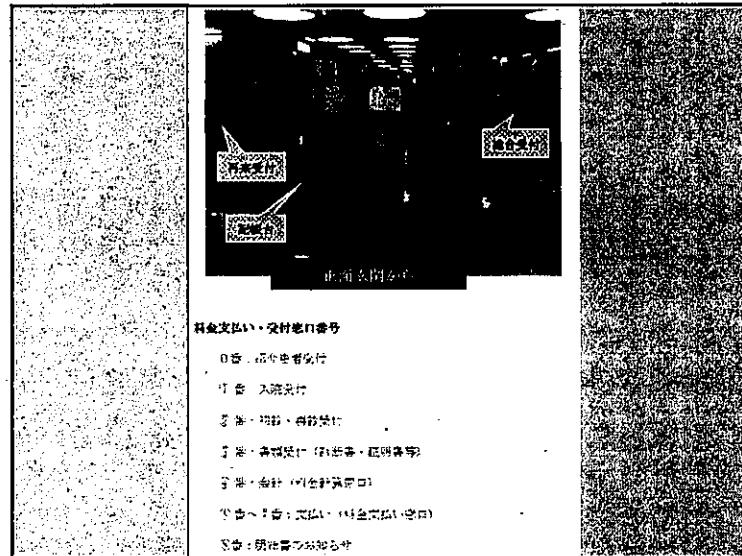
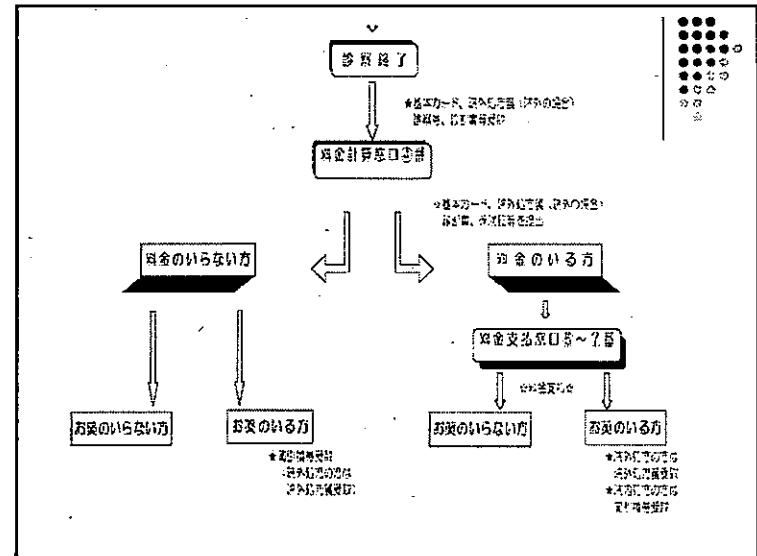


## ①部：病院案内・2階案内図



## ①部：病院案内 診察の手順

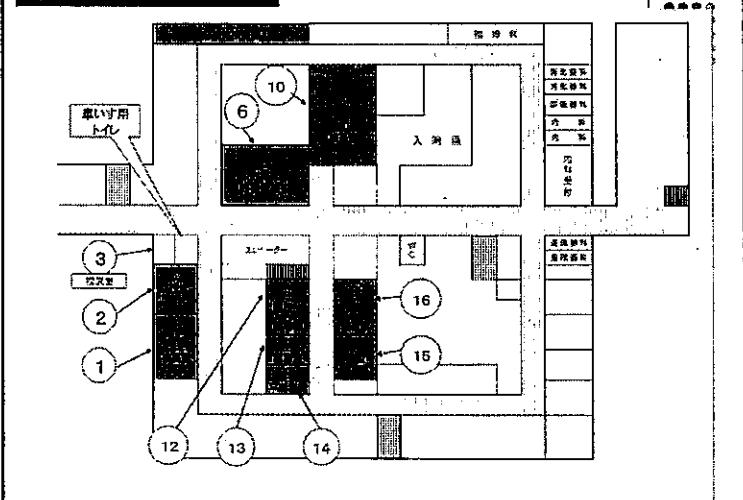




## ②部 検査解説・スタッフ



## ②部 検査室案内図



## 腹部超音波検査(検査時間: 10分から20分)

13

お腹からお内の様子に向かって、超音波（人の耳には聞こえない高い周波数の音）を発出し、体内の声波からもはお送りでくら反射波をもととして表示する検査です。

主として、肝臓、脾臍、胆嚢、腎臍、膀胱など内臓器や臓器を観察します。

## 【検査前のご注意】

## ・検査当日以外の食事さんは

- ・検査当日、午前の検査は朝を過ぎ、午後3時までに食事をとらない様子のみとしてください。

- ・午後、乳製品の摂取は絶対おやめください。

- ・腹筋の張りは軽減下さい。

## ・検査前日の食事さんは

- ・朝食はおやめください。

- ・午後3時までに食事をとらせてください。午後、検査後の飲食は食を充満させた状態で行ないます。

- ・検査当日中の食事は通常どおりをお願いください。

- ・検査前に排便を済ませるために、イカルと一緒に持込んでください。

## 臨床検査・酵素・炎症反応・腫瘍マーカー・尿一般などの検査

## 1.0%白蛋白検査

## AST (GOT)

検査の結果を測定したら

基準値: 10 ~ 35 IU/L/37°C

高値: 肝臓炎、急性肝炎、肝硬変、心筋梗塞

低値: ピグミン病の欠乏症

検査方法: 報告時間3.0 ~ 4.0分

## ALT (GPT)

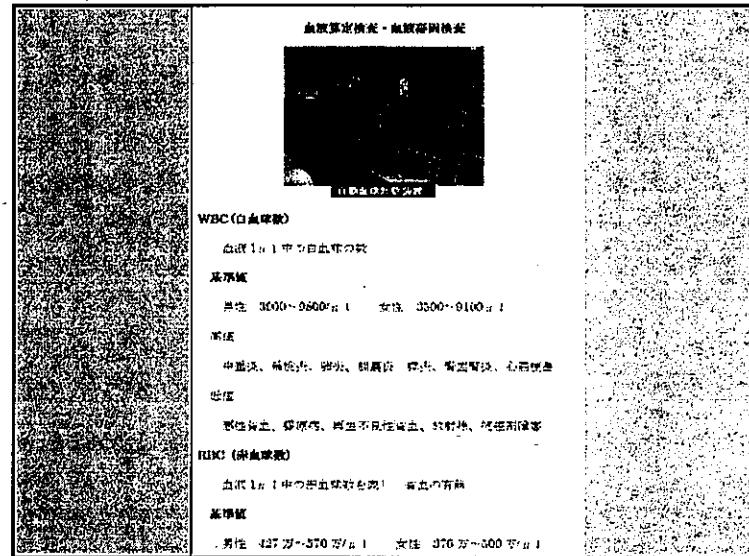
肝臓等の組織と検査を始める

基準値: 5 ~ 30 IU/L/37°C

高値: 肝臓炎、肝硬変、急性ウイルス性肝炎、アルコール性肝炎

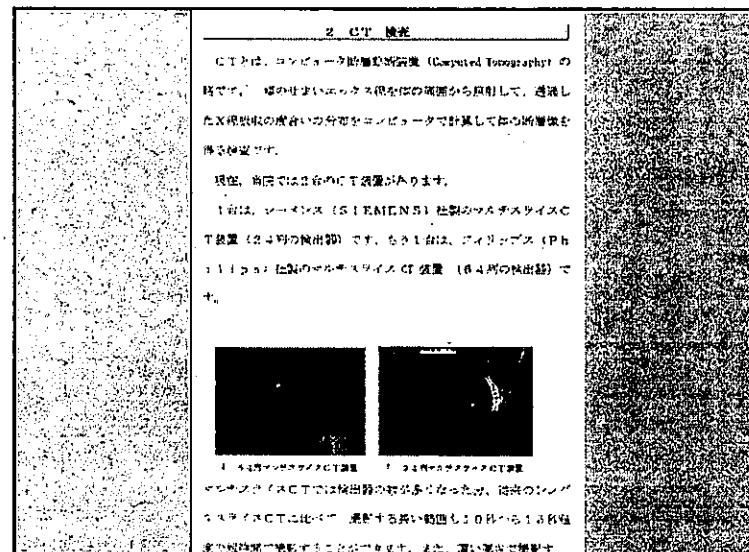
低値: 物になし

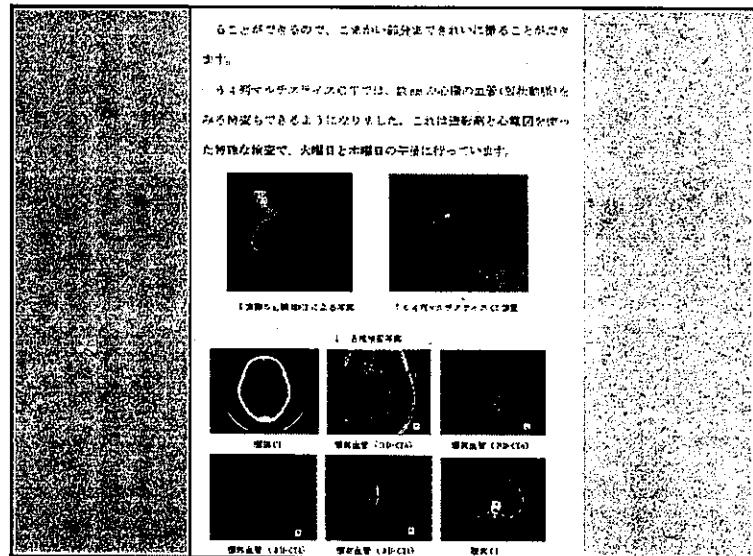
検査方法: 報告時間3.0 ~ 4.0分



### ③部 放射線検査解説(70P)

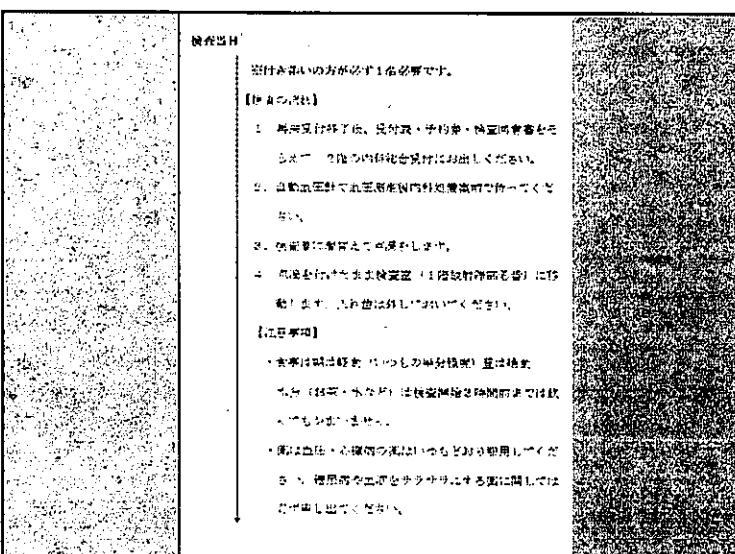
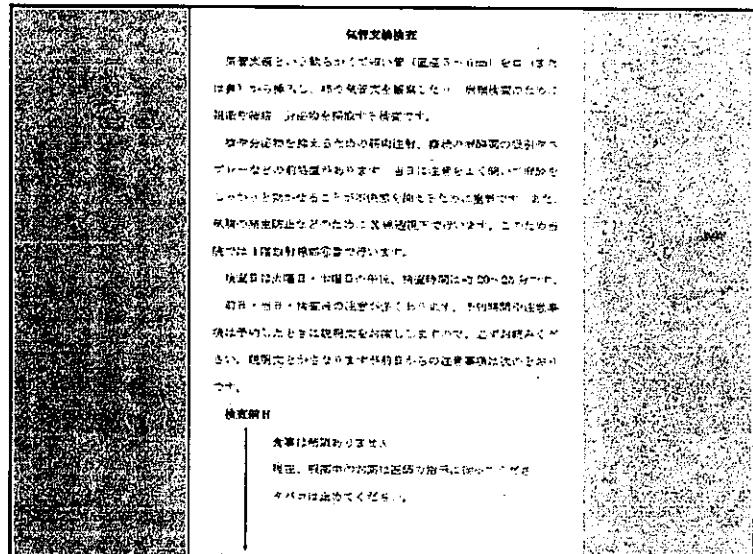
単純エックス線、造影エックス線、  
CT、MRI、DSA、核医学検査など  
検査解説、検査時間、検査手順、  
検査前後の注意、検査に伴う放射線  
被曝についてなど





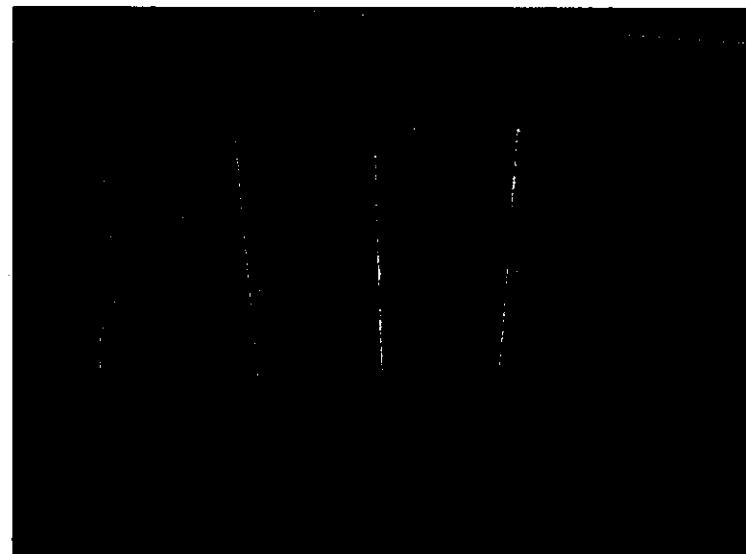
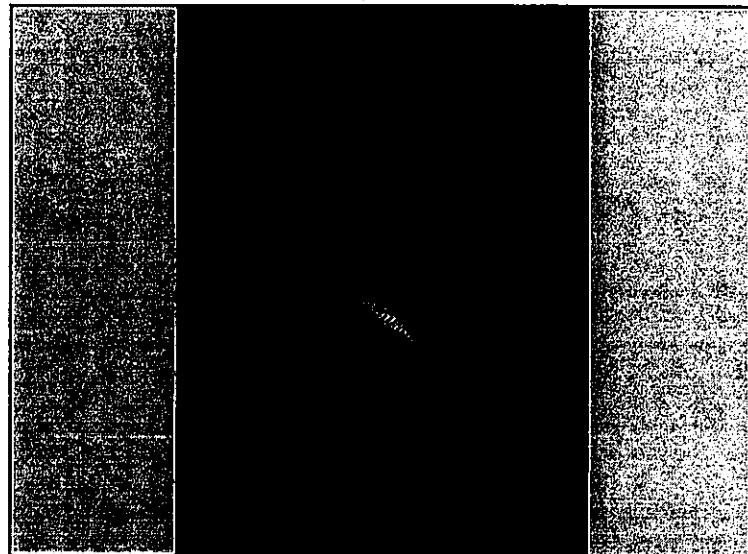
## ④部 診療科で実施する検査解説(60P)

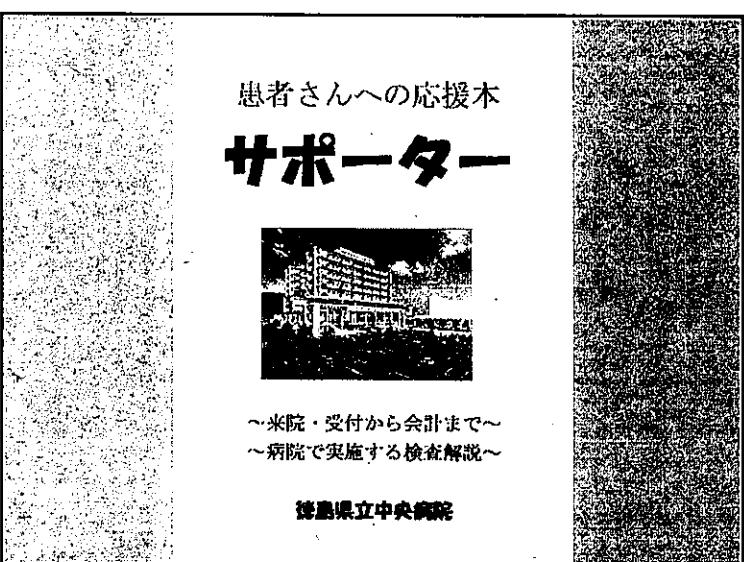
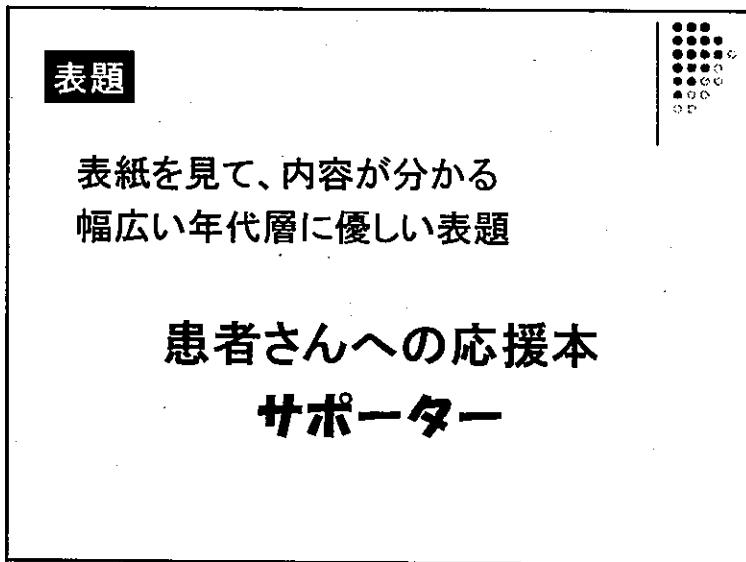
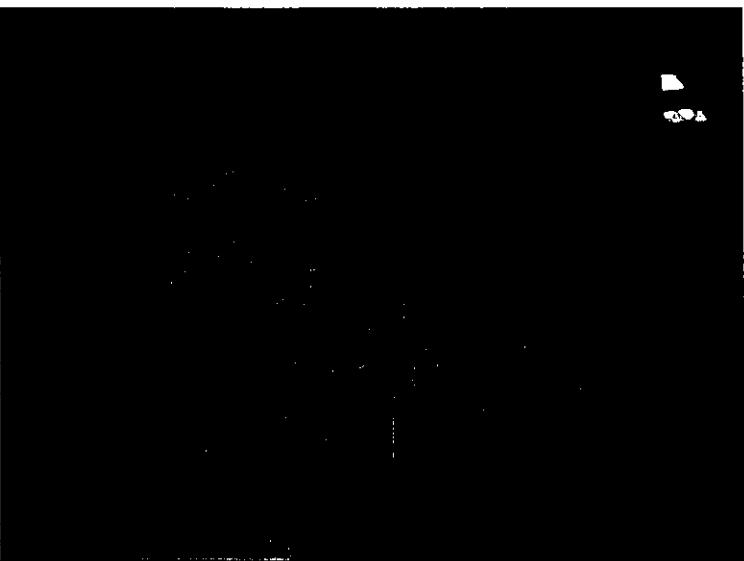
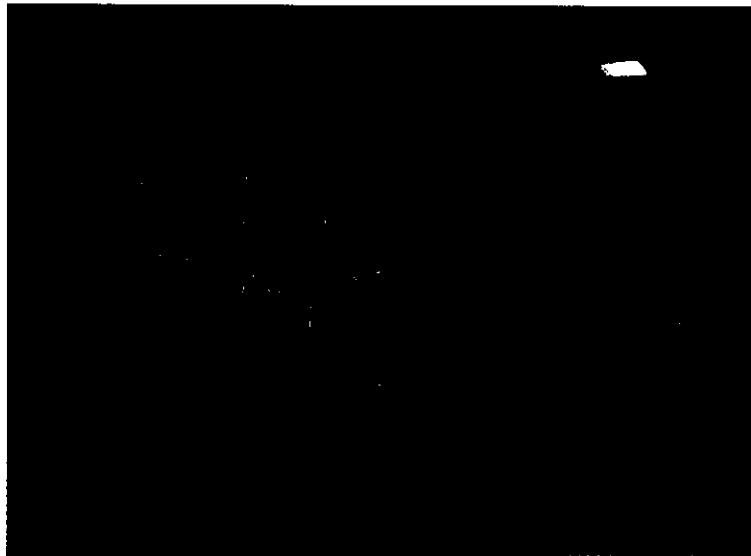
耳鼻科・眼科で行っている検査、内視鏡検査解説、所要時間、痛み・違和感の有無、結果説明・受付方法、前後の注意など



検査後	<p><b>【注意事項】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>検査終了後、直ちに内科の受診へお越しください。</li> <li>検査が終了するまでベッドで休んでいただきま す。</li> <li>検査終了後、会計カード・料金手帳・医方箋な どをお渡しします。</li> </ol> <p>午後検査はめどがしげれています。検査後2時間後と ってから、共に水分を1口とて、むせないのを 確認してから食事を開始してください。</p> <p>など専門の検査結果は医師が解説ですのでご自身で は解説しないでください。</p>
-----	--

<p><b>形式</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>・ファイル形式</b></li> </ul>	<p>4部をそれぞれ別々の小冊子とする。 4部のうち必要なものだけを綴じることができる。 自分の検査結果なども綴じることができる。 新病院など改訂版に差し替えが簡単となる。 将来さらに薬・治療・リハなどの解説も追加ができる。 私のカルテとの連動も考えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>・A4版、14P、明朝</b></li> </ul> <p>文字を大きく(14P)、文字間も広く見やすくする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>・カラー、イラスト、写真入り</b></li> </ul> <p>文字だけでは読み辛く、分かりにくい</p>
---	--





## 配布対象患者

- ・できれば来院前に手渡したい
- ・地域連携からの紹介時に希望された紹介患者

## 配布方法

- ・試行として500部印刷し、アンケート調査を実施
- ・紹介ランキングの上位の連携医にお願いして紹介時に希望があれば手渡していただく。

- ・試行500部でアンケート調査を行い、結果を見て、さらに検討・改訂する。

※患者満足度の向上が目的であるため  
患者アンケート調査は必要

新病院での利用に向けて検討を重ねる

## 使い方

### ● 基本的には患者さんの自由

#### 【使用例】

- ・来院するときは①病院案内だけをファイルに綴じて持つておく  
院内設備、検査室の場所、受付・会計の方法に役立つ
- ・前もって診療科や検査の予約票、説明書などを  
もらつていれば一緒に綴じておく  
当日、このファイルを持っていれば必要なとき  
に出しやすく、尋ねられた時に職員も分かりやすい

- ・②検査解説③放射線検査解説は自宅に置いておく

予約の要らない当日検査は結果報告書を持って帰つて検査目的、標準値などを確認できる

- ・検査結果や薬の説明書を綴じておく  
結果の変動が分かり、自分でも経過が分かる  
逆紹介や突然の救急受診のときに、この  
ファイルを持っていれば、当日の診断や治療に役立つ

- ・予約検査は帰宅して、②検査解説③放射線検査解説④診療科で実施する検査などで前もって受ける検査を確認する  
検査前後の注意点、検査に掛かる時間、結果の報告方法、検査目的等が確認でき、不安の解消となる  
医師からの説明の再確認になる
- ・先だって発行している“私のカルテ”を持っていれば一緒に綴じておく  
組み合わせることで、より幅広く使うことができる

### 考えられる効果

#### 患者満足度の向上

- ・不慣れな病院での不安の解消
- ・検査の説明の補助
- ・検査・治療に対しての意識の向上

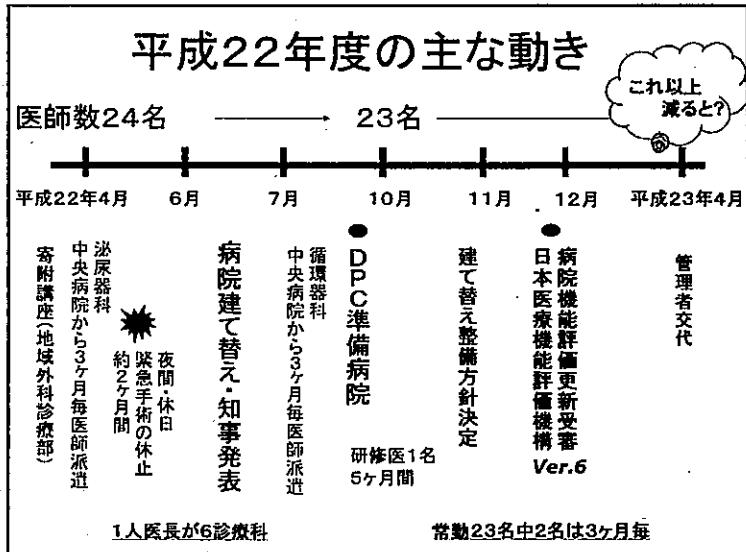
#### その他

- ・地域医療支援病院としての貢献
- ・検査部門だけでなく、病院全体での患者サービスへの意識の向上
- ・病院職員が検査説明等に利用可能

新病院では設備も運用も変わる



新病院による大きな効果が期待



**取り組むべき課題とタイムスケジュール**

第2次経営健全化計画

	平成21年度	平成22年度	平成23~25年度
亜急性病床	■		
レセプト オンライン	■		
DPC準備		■ ←→	
病院機能評 価更新受審	■		
地域医療支 援病院		■	



## 三好病院改築計画 整備方針中間とりまとめ

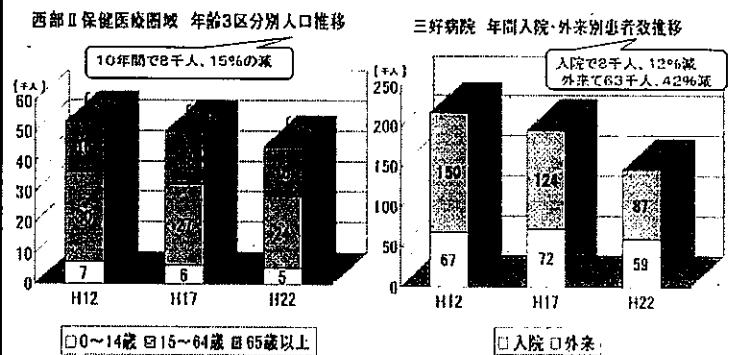


- ・ 地域に開かれた魅力ある病院
- ・ 四国中央部の医療の拠点病院

## 三好病院と周辺病院



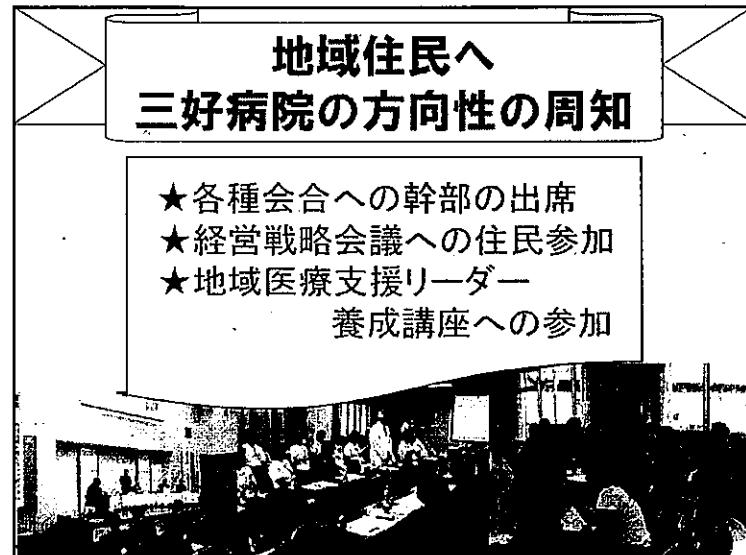
## 中山間地域における 過疎化・少子高齢化



## 地域に開かれた 快適で魅力ある病院づくり



相談室・オープンスペース・食堂・売店の整備



**地域住民との対話集会**

平成20年度	平成21年度	平成22年度
8月 三好市・老人クラブ連合会 中央リーダー研修会	9月 井川町・長寿クラブ連合会 リーダー研修会	10月 地域医療支援リーダー養成 講習会 三好市

11月 池田町・老人クラブ連合会  
リーダー研修会

1月 地域医療を考えるセミナー  
三好市

3月 地域医療を考えるシンポジウム  
三好市

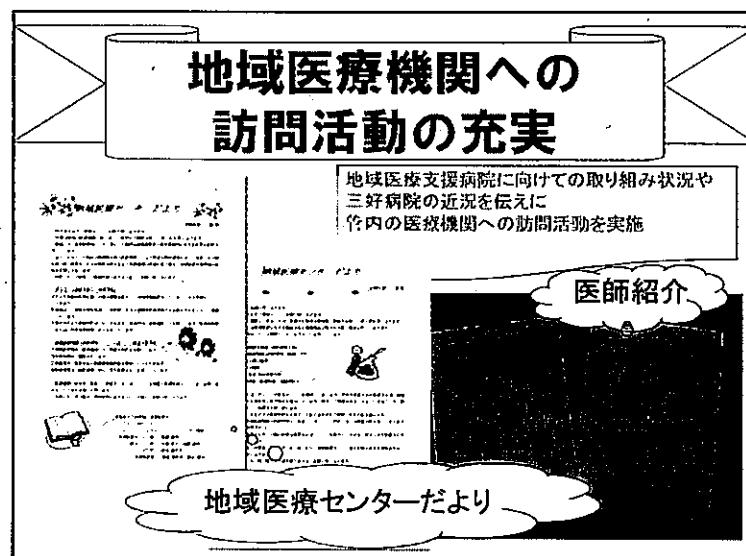
5月 三好市・母子保健福祉連合会  
三好市

9月 地域医療を考えるシンポジウム  
美馬市

10月 三好病院を応援する会との  
意見交換会  
三好市

2月・東みよし町・老人クラブ連合会  
リーダー研修会

5月 三好市医師会との対話



## 開業医との信頼関係の構築

バロメーターとしての紹介率、逆紹介率のアップ

	紹介率(%)	逆紹介率(%)
H20	33.9	25.3
H21	25.6	35.8
H22. 11末累計	31.0	30.6
<b>目標</b>	<b>40.0</b>	<b>60.0</b>

## 『西部臨床研究会』の開催

第71回 H22.6.24 「異なる臨床経過を辿り多症の肝内門脈カス血栓を伴った非閉塞性腸間膜梗塞症の3例」  
外科 山崎誠司  
「当院における左冠動脈主幹部病変3例に対する治療について」  
内科 山本浩史

第72回 H22.9.16 「前列腺からPSA検診について」  
泌尿器科 田上良一  
「虚血性心疾患の診断と治療」  
循環器科 田村亮也

第73回 H22.12.16 「当院での褥瘍施設の実際」  
整形外科 平井惣成  
「呼吸器科医の呼吸機会」  
呼吸器内科 北室真一

- ・地域完結型医療体制の構築
- ・高度・専門医療への取り組み、地域医療への貢献
- ・ドクターヘリを活用した救急搬送体制の構築
- ・災害時における医療体制の整備

## 地域完結型 医療供給体制の整備

急性期病院として、医療機能の充実強化

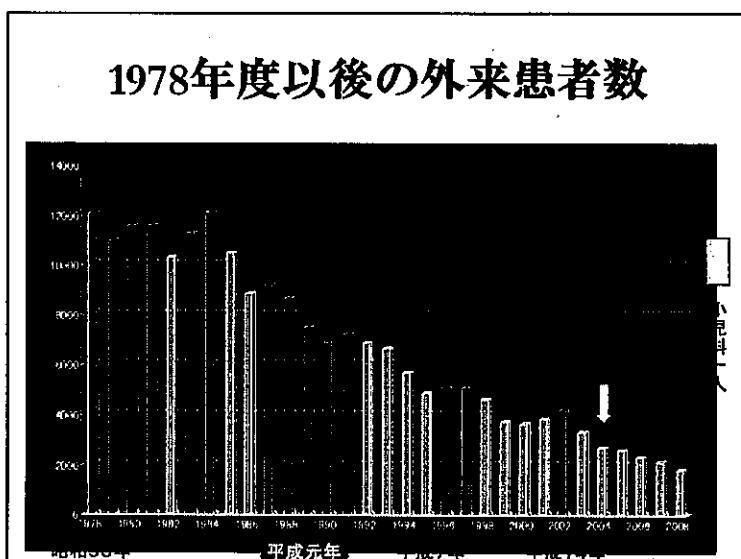
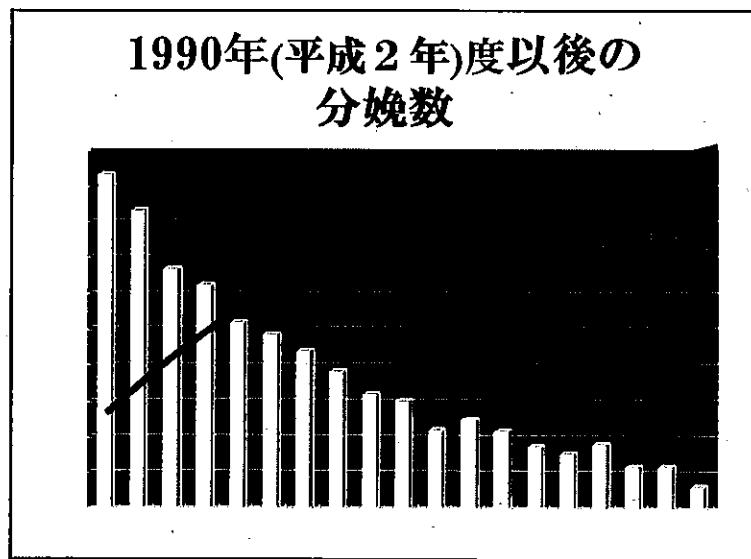
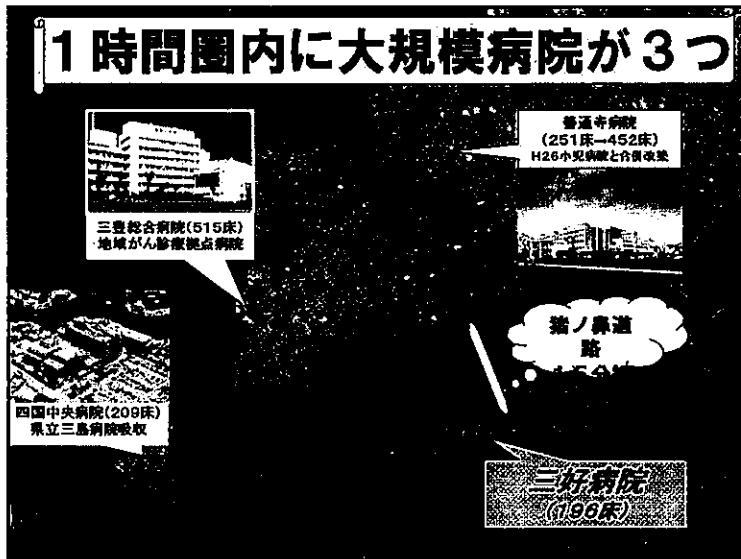
市立三野病院、  
町立半田病院との  
連携と機能分担

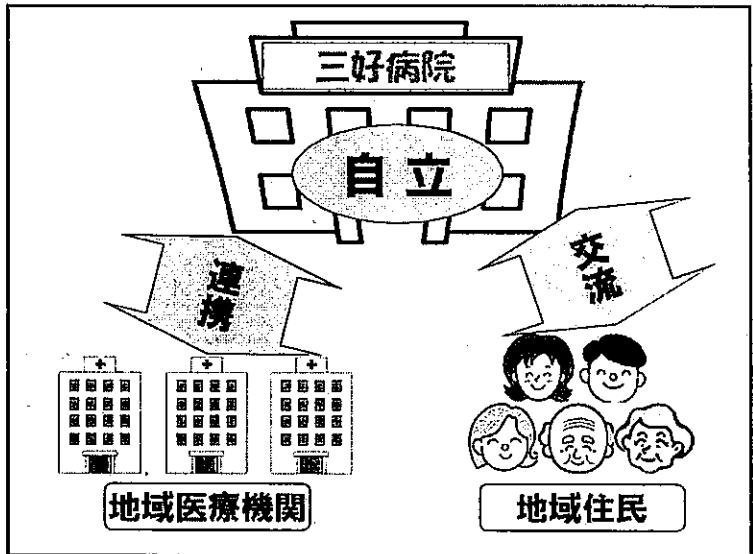
徳島大学病院や県立中央病院からの支援

**高度・専門医療への取り組み**

- ☆がんに対する集学的治療の実施
- ☆脳卒中センターの検討
- ☆質の高い医療や看護の提供

専門医、専門・認定看護師の育成





県民に支えられた病院として、  
県民医療の最後の砦となる



## 海部病院の取り組み

平成  
徳島

今年度海部病院が目指したこと

### ●医療再生

## 基本方針

- 1) 地域にとって無くてはならない病院として「必要とされる医療」を提供する
- 2) 総合診療の研修、実践の場所となる
- 3) 患者さん、家族の方のみならず、医療スタッフからも選ばれる病院となる

### 1) 必要とされる医療を提供

## 必要とされる医療の提供(1)

- 地域医療・総合診療に携わる医師の育成と確保
- 必要とされる訪問診療・看護・リハの実施
- 終末期医療、緩和医療の提供
- 患者教室、出前講演会、住民講演会の充実
- がん患者「なごみサロン」の提供

## 必要とされる医療の提供(2)

- 医療安全、感染対策のため専任看護師の配置
- 医療スタッフのスキルアップ(認定看護師取得等)
- 県南部に不足している呼吸器領域、癌領域の提供
- NST(栄養・床ずれ)活動、リハビリの充実

## 寄附講座

H22. 4月開設

- 「総合診療医学分野」 内科 1名
- 「地域産婦人科診療部」 産科医 1名

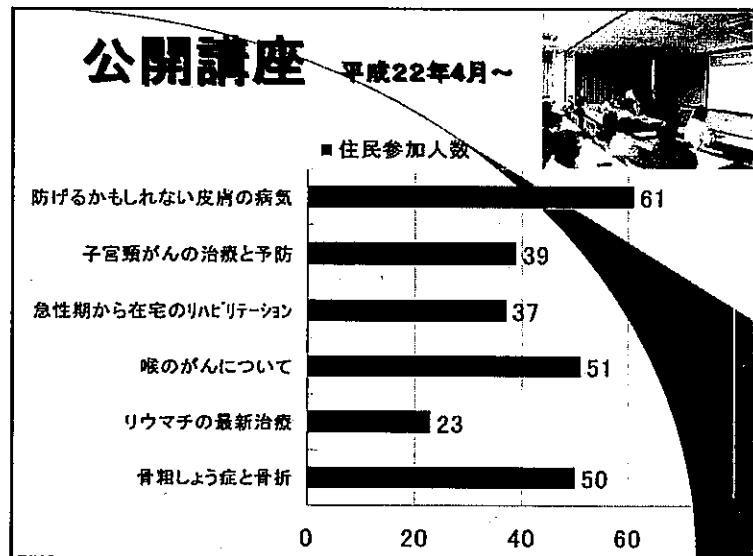
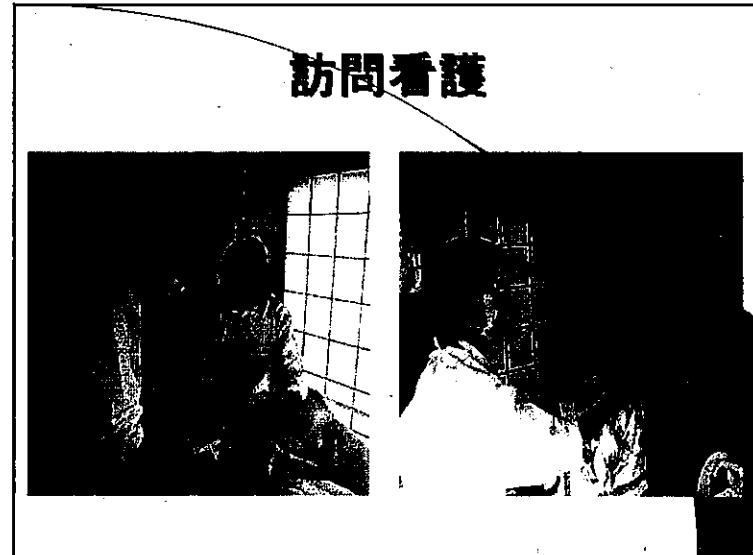
## 訪問診療・リハビリ

H22. 5月～

### 訪問診療

### 訪問リハビリ





### 成人病教室

月	テーマ
4月	生活習慣病
5月	動脈硬化
6月	糖尿病
7月	高脂血症
8月	高血圧
9月	糖尿病
10月	心臓病
11月	脳卒中
12月	糖尿病

● 場所:和サロン(1階)

● 時間:14:00～15:30

● 毎月第1、2、3、4火曜日

- 第1:看護師
- 第2:薬剤師、検査技師、診療放射線技師
- 第3:栄養士
- 第4:理学療法士

## がんリハ研修会(H22.7.10-11)



## NSTチーム活動

平成22年度の状況

	回数	回診 (延べ人数)
4月	1	10
5月	3	20
6月	5	40
7月	4	38
8月	2	16
9月	5	27
10月	4	35
11月	2	13



## 早朝リハビリテーション

H22. 6月～

朝食時より適正なポジショニングと車椅子能力を向上させ、廃用や誤嚥を予防す

また、早朝から離床を促すことで生活リズムを取り戻し、質の高いリハビリを提供することでADL・QOLの向上を目指す

## リハビリ外来開始

H22. 6月～

海部病院からのお知らせ

6月～始めました

脳卒中・リハビリ外来

診察日:毎週木曜日午前

場 所:整形外科外来

担当医:河野光宏医師

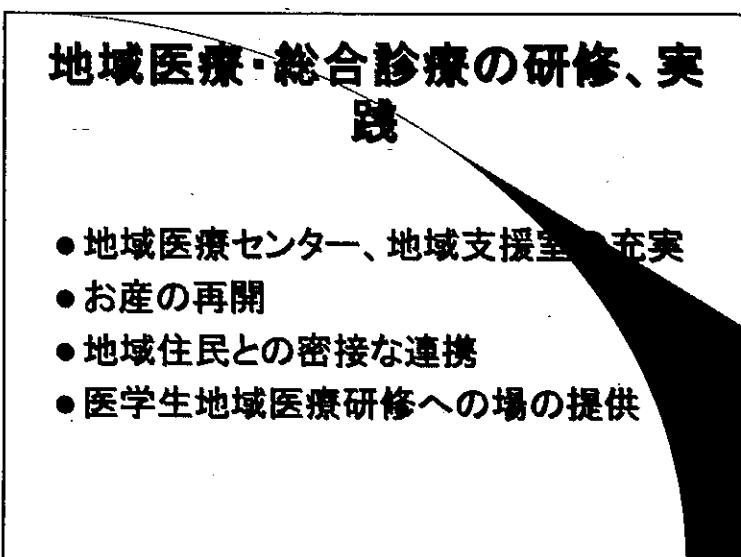
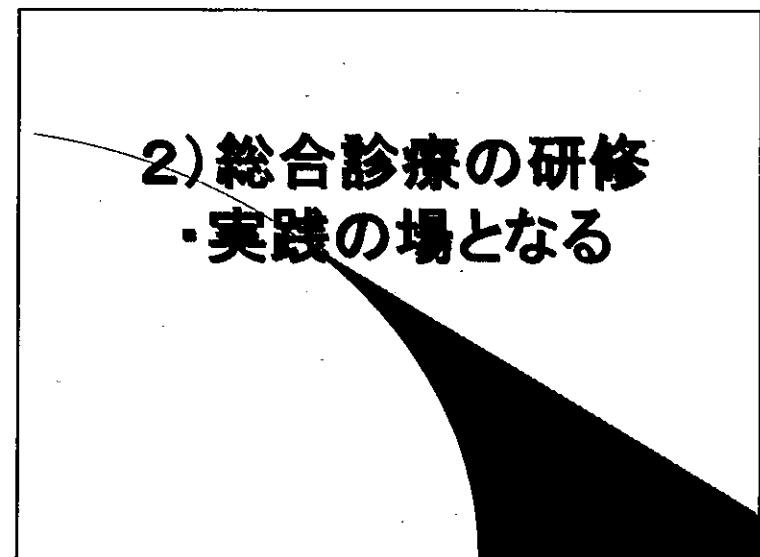
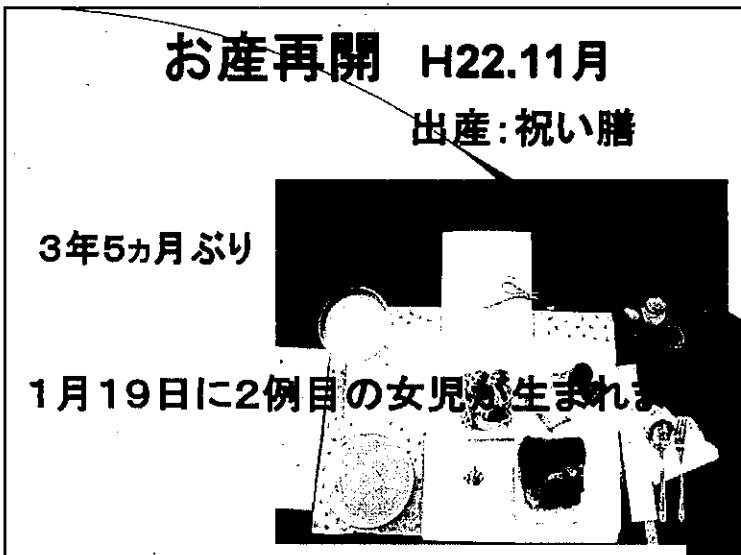
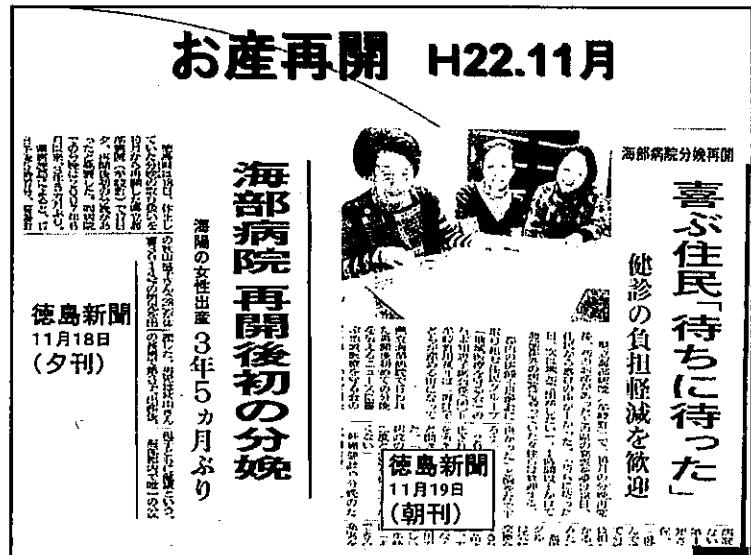
・脳卒中の麻痺・嚥下障害・高次脳機能障害

・パーキンソン病などの神経障害・認知症など

★急性期の骨折以外のリハビリを

幅広く診察します

問い合わせ先:海部病院内科外来 TEL72-3506



## 地域支援室



平成22年1月1設置

- ・地域連携
- ・訪問医療
- ・各種相談

## 「地域医療を守る会」との連携



- ・医師公害居住環境整備(エアコン等)
- ・単身赴任医師の食事の提供

← クリスマスケ

### 牟岐町女声合唱団 「ブルーエコー」による X'masコンサート

H22. 12月



### 徳島大学医学生の地域医療実習 in 海部



徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部  
総合診療医学分野  
Department of General Medicine

徳島大学医学生の地域医療実習  
in 海部



住民の皆様とも直接対話しています

徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部  
・総合診療医学分野  
Department of General Medicine

海がめプロジェクト



日本で産卵する個体群はメキシコのカルブ  
孵化後に回遊し、さらに成長すると日本近海へ

3) 選ばれる病院となる

選ばれる病院となる

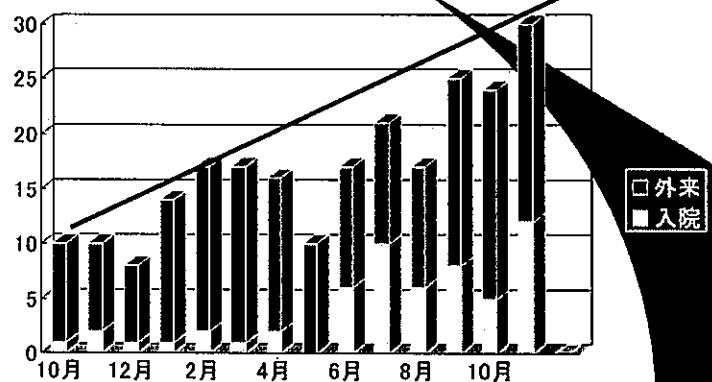
- ファインチームワークの醸成
- 外来化学療法室の充実
- アメニティーの改善
- ホームページリニューアル
- 地域住民との良好な関係作り

## チーム医療

- NST、ICT、緩和ケア・化学療法チーム
- 医療安全推進委員会
- 多職種の協働

早朝採血、検体搬送(臨床検査技師)  
 早朝リハビリ(理学療法士)  
 朝の一斉病棟訪問(薬剤師)  
 おやつサービス、いのちのスープ(栄養士、調理師)  
 フィルム搬送:病棟、近隣医療施設(診療放射線技師)  
 成人病教室(医療局、看護局、医療技術局)  
 救急搬送の同乗(医師、看護師)

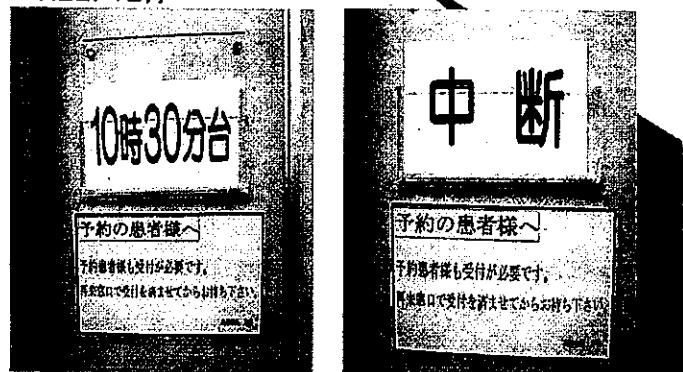
## 無菌製剤処理



## 待ち時間への配慮

- 内科外来で実施していた待ち時間表示を各科でも開始

H22. 12月～



## 学会認定教育施設

- 日本アレルギー学会
- 日本緩和医療学会
- 日本国際内科学会(申請中)
- 日本呼吸器学会
- 日本感染症学会(申請予定)

## 認定看護師(CN)

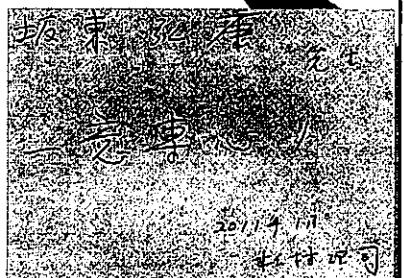
- 緩和ケア(Palliative Care)
- 感染管理( Infection Control)
- 糖尿病看護(Diabetes Nursing)

## 回診・カンファランスの充実

- 内科カンファランス(毎:火曜日)
- 医局勉強会(毎:木曜日)
- 抄読会(毎:火曜日)
- 院長回診(毎:火曜日、木曜日)
- 退院前カンファランス(医師、リハ、看護)

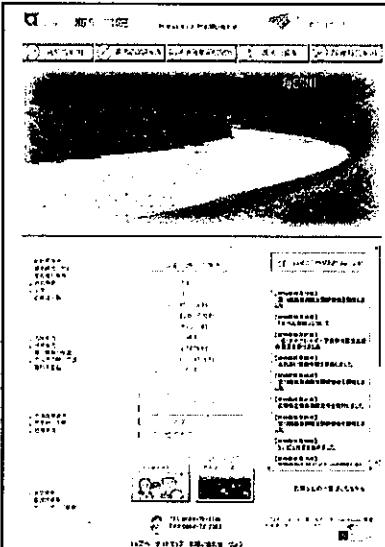
## 研修体制の充実

- 洛和会音羽病院グループとの連携
- 指導医の派遣、研修医の受け入れ



## 病院HPの リニューアル 2010年10月

職員による作り  
約90万円



## 地域住民との親睦



## 今後の取り組み

- 土曜日救急再開のための体制づくり
- 分娩継続のための体制づくり
- 訪問医療の充実・強化
- 医師等の医療職員不足解消に向け取り組み
- 地域発展のために住民、医療職から信頼され、信頼され、選ばれる病院づくり

2011年(平成23年)1月18日 大雪日

名古屋の医療不足解消に取り組む会を立ち上げてお困りの皆様に「地域医療を守る会」した皆先生を名古屋市内の相合文は16日、県立海部病院の土曜日の午後センターで授業した。

**海部病院で受け入れ休止**

**土曜救急再開へ創作劇**

地域丸ごと  
医療充実

団体  
「コンビニ受診控えて」

卒 塾

海部病院では、地域丸ごと医療充実の取り組みとして、土曜日午後センターで「コンビニ受診控えて」の創作劇を行った。この劇は、地域の医療資源を最大限に活用するための取り組みであり、地域の医療機関や患者さん、地域住民が協力して作られたものである。この劇は、地域の医療資源を最大限に活用するための取り組みであり、地域の医療機関や患者さん、地域住民が協力して作られたものである。

## 徳島県病院事業 第二次経営健全化計画について

### 1 事業の追加（趣旨）

本計画は、平成20年度に検討・協議を行い、平成21年3月に策定されたところであるが、翌21年度には、「総合メディカルゾーン構想」における協議の進捗や「徳島県地域医療再生計画」の策定といった県立病院を取り巻く状況に大きな変化が生じているところである。

このため、状況の変化等を踏まえ計画の見直しを行い、事業を追加し、「進化する計画」として、より実効性のある計画とする。

### 2 計画に反映すべき状況変化

#### (1) 総合メディカルゾーンに係る新たな合意書の締結

徳島大学病院と県立中央病院とが連携して医療の拠点化を進めている「総合メディカルゾーン構想」については、平成21年10月に知事と学長との間で新たな合意書が締結された。

#### (2) 徳島県地域医療再生計画の策定

平成21年度に新たに設けられた国の交付金（地域医療再生臨時特例交付金）を活用し、徳島県が抱える医療課題の解決に資するため「徳島県地域医療再生計画（東部Ⅰ保健医療圏・西部Ⅱ保健医療圏）」が、県地域医療対策協議会の審議を経て策定され、平成22年1月に国の承認を受けた。

#### (3) 県立三好病院高層棟の改築決定

国の交付金（地域医療再生臨時特例交付金・医療施設耐震化臨時特例交付金）を活用し、三好病院を四国中央部の医療の拠点病院にふさわしい病院として整備することとした。平成22年10月に「徳島県立三好病院整備方針」を策定。

### 3 主な改正内容

#### V 第二次経営健全化計画の基本的視点と実施施策

##### 1 計画の基本的視点

##### 2 各県立病院の担うべき医療機能

###### ○中央病院

- ・「救急医療機能」の項に、総合メディカルゾーンを拠点とするドクターヘリ運航を追加
- ・「がん医療機能」の項に、総合メディカルゾーンにおけるがん対策センター設置と中央病院における在宅緩和ケア支援の推進を追加
- ・「精神医療機能」の項に、精神科救急情報センターの新設を追加

###### ○三好病院

- ・「救急医療機能」の項に、高層棟の屋上でのヘリポート整備を追加
- ・「がん医療機能」の項に、新病院開院時における集学的治療体制の整備等を追加
- ・「小児・周産期医療」の項に、改築にあたっての分娩スペースの確保を追加
- ・新たに「低層棟、高層棟の耐震化」に関する記述を追加

###### ○海部病院

- ・「へき地医療」の項に、地域医療研究センターの拡充を追加

##### 3 再編・ネットワーク化について

##### 4 県立病院の経営形態について

##### 5 一般会計負担の考え方

##### 6 具体的施策

###### ○医療の質の確保

- ・「アメニティ」の項に、新三好病院高層棟における療養環境整備を追加
- ・「地域社会」の項に、連携体制構築の項に、西部圏域における医療情報連携の推進を追加
- ・「啓発・貢献」の項に、海部病院における地域医療研究センターの整備を追加

###### ○医療の透明性の確保

- ・「一体化」の項に、中央病院と徳島大学病院の間における医薬品・診療材料の購入、高額医療機器の導入、保育所の運営に係る共同体制を追加

# 徳島県立三好病院整備方針

～四国中央部の医療の拠点病院を目指して～

【概要版】

平成22年10月

## 1 改築の必要性

- ・新耐震基準以前に建てられ、早急に耐震化を図る必要がある
- ・全般的に施設が狭隘で、機能面において多くの課題がある
- ・第二次経営健全化計画に掲げる医療の質や透明性の向上などを図る必要がある

### 〔各施設の問題点〕

ア 低層棟、高層棟の耐震性

イ 各施設の有効利用

　低層棟の担うべき機能等の検討、敷地内の関連施設のあり方の検討

ウ 駐車場の確保

エ 敷地内への進入路

### 〔医療機能上の問題点等〕

ア 病院本館の床面積・規模

イ 病棟施設

　各病棟の1看護単位の病床数が大きい、結核、感染症病床の動線等

ウ 外来診療部門

　診療室や処置室が狭隘、中央処置室の設置の検討、物療室等の各部門への一元化

エ 中央診療部門

### 〔放射線技術部門〕

　血管撮影室の配置場所、マンモグラフィー等が一般撮影室と共存

### 〔薬剤部門〕

　製剤室の配置場所等

### 〔リハビリテーション部門〕

　物療室、機能訓練室、水治療室の一元化

### 〔手術部門〕

　床面積が狭く機能上の課題がある

## 2 新病院の方向性

### (1) 医療提供体制の方向性

- ア 安全・安心な医療の提供、地域完結型医療体制の構築
- イ 高度・専門医療への取組み、地域医療への貢献
- ウ ドクターへリを活用した救急搬送体制の構築
- エ 災害時における医療提供体制の整備

### (2) 担うべき医療機能等

ア 当面担うべき医療機能

　急性期医療、救命救急医療、がん医療、小児救急医療、感染症医療、災害医療、へき地医療

イ 将来担うべき医療機能

周産期医療

ウ 地域の医療機関等の連携

(3) 病床規模等

220床を基本に検討、病床種別は現在の種別(一般病床206、結核・感染症病床14)を  
基本に地域の医療需要等を踏まえ、診療科目の新設などについて検討

(4) 医療スタッフの確保、適正配置

ア 勤務環境の改善や徳島大学病院との人的交流、県立病院間での人事異動

イ 臨床研修医にとって魅力ある病院を目指す

ウ 地元住民や自治体との連携

### 3 改築の方向性

(1) 整備の基本方針

ア 国の各種交付金を有効に活用し、現在の敷地内で高層棟を改築

イ 四国中央部の医療の拠点病院にふさわしい病院として整備

ウ 低層棟、救命救急センターとの接続は最適な方法により整備

エ 低層棟の担うべき機能等は、今後新たな整備の必要性も含めて見直しする

(2) 快適で魅力ある病院づくり

ア 安全・安心な施設

・徳島県県有施設総合耐震計画基準に基づく耐震性を耐震工法により確保

・発災時の被災者の受け入れ・手当等ができるスペースや救命医療に必要な医薬品等の  
備蓄が十分にできるスペースの整備

・ユニバーサルデザインの施設として地域産材も十分に利用しながら整備

イ 快適な療養環境の施設

・家族との面会時のスペースの確保など快適な療養環境の整備

・利用者や市民の癒しの場として、庭園等の整備の検討

・病室は4床以下、1床当たり $8\text{ m}^2$ 以上、利用者の要望に応える個室の整備

・食堂、売店などは地域にも開かれた施設として、利便性、快適性に配慮

・駐車場は将来の需要動向などを考慮し、必要台数を確保する

ウ 地域に開かれた施設

・地域住民などを対象にしたセミナーや講演ができる施設の整備

・市民が気軽に集えるスペースの整備の検討

・市民などが気軽に健康相談など行える各種相談室の整備

エ 職務環境の充実した施設

・医療機能上の必要な面積の確保や機能的な動線などにも十分配慮

・職務や福利厚生上必要な会議室等の確保

### (3) 規模機能、各部門の整備方針

#### ア 規模機能

1病床当たりの整備床面積を 80 m<sup>2</sup>とする

#### イ 各部門の整備方針

##### **病棟施設**

- ・病室は4床以下、1床当たり8m<sup>2</sup>以上、利用者の要望に応える個室の整備
- ・分べんに必要なスペースの確保、無菌室又は簡易無菌室の設置の検討
- ・結核、感染症病床の配置場所や動線、空調施設など十分に配慮
- ・スタッフステーションは患者等の状況を把握しやすい配置とする
- ・患者家族説明室、カンファレンスルーム、休憩室、仮眠室などの確保

##### **手術部門**

- ・感染防止への配慮
- ・救急部門や放射線部門との連携、中央材料室との近接配置
- ・家族控室、患者家族説明室等の設置、機材が十分に収納できる室の設置

##### **中央材料部門**

- ・滅菌業務の一元化、清潔・不潔の動線の分離

##### **透析部門**

- ・人工透析室の8床分のスペースの確保、更衣・休憩室等の確保
- ・排水基準を満たした透析排水とする

##### **リハビリテーション部門**

- ・機能訓練室・水治療室と物療室を一元化した施設
- ・屋上を歩行訓練スペースとして利用することの検討

##### **放射線技術部門**

- ・集学的治療が可能となる放射線療法に必要なスペースの確保
- ・血管撮影室の配置場所の確保

##### **栄養管理部門**

- ・衛生区域と非衛生区域を明確にした構造、配膳と下膳が交差しない構造
- ・栄養事務室は厨房施設内全体が見渡しやすい配置

## 4 経営の健全化

(1)一層の収益增收対策と費用削減対策の推進

(2)第二次経営健全化計画に基づき良質な医療の提供や患者サービスの向上などを積極的に推進

## 5 まとめ

徳島県病院事業の基本理念を踏まえ、新たな三好病院が本県西部地域のみならず四国中央部の医療の拠点にふさわしい病院を目指し、地域に開かれた快適で魅力ある病院として、誰からも信頼され、親しまれるよう、整備する